郷土誌だより（10月号）

美穂地区郷土誌委員会
2016年10月1日

美穂地区郷土誌ができました

かねてよりお知らせしております美穂地区郷土誌は１０月の中旬ごろに全戸に配布します。

上記郷土誌は第１章から第１２章までの編成で中身の濃い内容となっています。

美穂地区文化祭で、下味野周辺で発掘された遺跡品を展示

来る１０月２９日（土）、３０日（日）で開催される美穂地区文化祭（公民館主催）に下味野周辺（下味野童子山遺跡、篠田古墳群、下味野古墳群）から発掘された写真や出土遺跡品を展示します。

「美穂郷土誌」第２章（３）遺跡、古墳群を記載しておりますので事前に見て頂ければ幸いです。

＜飛禽鏡＞

展示品の一部を照会。

篠田古墳群から発掘された「飛禽鏡（ひきんきょう）」と称される銅鏡が出土している。「飛禽鏡」の出土は全国で12例目と非常に少なく貴重かつ注目されている。

今回出土した「飛禽鏡（ひきんきょう）」は縁の斜縁の半肉彫である。製作地は中国大陸の徐州説、朝鮮半島の楽浪郡説があるが、楽浪周辺からの出土が集中することから、現在のところ楽浪郡説が有力と思われる。「飛禽鏡」の出土地が九州や日本海側に多いことから、中央政権を経由せず大陸との直接な交流が考えられ、被葬者の社会的地位を窺わせる。

美穂郷土誌委員会から

郷土誌の発刊で終わらず、今後も「郷土誌」の内容を基本として、適宜「郷土誌だより」でお知らせ致します。